

平成28年度 能美市立辰口中学校 学校評価

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取組状況 (中間・学校教育懇談) 8月	評価	取組状況 (最終評価) 1月	評価	学校関係者評価者 による意見	今後の改善策
1	組織的な学校運営 主任等を中心として、同僚性・専門性を活かし、研修・協働する学校づくりをする。	教頭・教務	＜成果指標＞ 主任層のリーダーシップのもと、各分掌と学年が縦横の連携を図り、組織的な学校づくりが行われている。	＜教職員アンケート＞ 経営ビジョンを理解し、連携を図り実践しているか。						
	安全対策や危機管理の指導力を高め、いじめ・不登校などには組織的に迅速に対応する。	生徒指導	＜努力指標＞ 職員会議で情報交換を行い、各主任や担任・学年会が縦横の関係でいじめ・不登校に対し組織的に対応している。	＜教職員アンケート＞ いじめ・不登校の生徒に適切に対応できたか。情報の共有化はできているか。						
2	全員の生徒が「わかる・できる」ように工夫・配慮された授業をめざす。授業のユニバーサルデザイン「焦点化・視覚化・共有化」を進める。	教務	＜成果指標＞ 3つの視点「焦点化・視覚化・共有化」を意識し、活力ある授業が行われている。	＜教職員アンケート＞ 「焦点化・視覚化・共有化」を考慮した、「わかる・できる」授業が実施できているか。						
	学び合いや活用力を育てる学習を充実させ思考力判断力表現力を育て、アクティブラーニングの研究を推進する。	教務	＜努力指標＞ 各教科で学期に1回アクティブラーニングの公開授業を行い、能動的・対話的な授業の研究を進める。	＜教職員アンケート＞ アクティブ・ラーニングを積極的に推進しているか。						
	「授業の辰人スタイル」を身に付け、家庭学習や読書活動を充実させ、自ら学ぶ積極的な態度を育てる。	教務・研究	＜満足度指標＞ 学校は家庭と連携し、家庭学習や読書の習慣を涵養している。	＜保護者アンケート＞ 家庭学習や読書習慣、自ら学ぶ積極的な態度が身についたか。						
	学びのPDCAを構築し、計画的・組織的に学力の検証と改善を重ね、基礎的知識・技能を定着させ、これらを活用する力をつける。	教務	＜満足度指標＞ 学びのPDCAサイクルを構築し、基礎学力の定着、活用力の向上に努めている。	＜保護者アンケート＞ PDCAサイクルを実施し、学力の検証ができているか。評価テストの通過率が向上しているか。						
3	人間教育を学校教育の中心に据え、道徳教育においては、「アクティブ モラル ラーニング」を研究し、地域教材と人材の活用や家庭・地域との連携を深めて充実を図る。	研究	＜成果指標＞ 地域・保護者と連携し、「アクティブ モラル ラーニング」を通じ、道徳教育を推進している。	＜教職員アンケート＞ 道徳の時間は、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立つと思うか。						
	授業や体験活動を通して、自己の能力や適性を自覚させ、自己実現できるキャリア教育の充実を図る。	研究	＜満足度指標＞ 自己の能力や適性を自覚させ、キャリア教育の充実を図っている。	＜保護者アンケート＞ 自分のよさを理解し、進路実現に向け充実した生活を送っているか。						
	生徒会活動やボランティア活動を通して、自治・自浄の能力を高め、開発的生徒指導に努める。	生徒指導	＜満足度指標＞ 生徒会活動やボランティア活動に積極的に取り組み、開発的生徒指導を行っている。	＜生徒アンケート＞ 生徒会活動やボランティア活動が活発で、学校生活が充実しているか。						
	自尊感情や自己存在感を高めるようにし、積極的に意見を述べ合い、認め合える親和的な学級をつくる。	生徒指導	＜努力指標＞ 学習集団、生活集団としての機能を高める学級づくりに努めている。	＜教職員アンケート＞ Q-Uアンケート結果や生徒面談を活用し生徒理解を深め、親和的な学級づくりに努めているか。						
4	教科体育・部活動を中心に体力を高め、ねばり強くやり遂げる精神力を育てる。	保健美化	＜成果指標＞ 教科体育や部活動を通じ、体力の向上や粘り強く努力する心づくりに努めている。	＜教職員アンケート＞ 身体計測・スポーツテストの結果などから、体格、体力、粘り強く努力する心は向上しているか。						
	「食育プロジェクト」を継続して取り組み、家庭や地域と連携し、生涯にわたる健康と栄養意識を向上させる。	保健美化	＜成果指標＞ 「フルコース朝ごはん」活動が浸透し、健康への関心が高まり、生活リズムが改善されている。	＜保護者アンケート＞ フルコース朝ごはんづくりを意識しているか。						
	部活動は、各部の目標の下に、一人ひとりに目的意識を持たせ、逞しい身体と親和的な人間関係を構築できるよう、保護者と連携して充実に努める	生徒指導	＜満足度指標＞ 部活動は生徒の健全育成に役立っている。	＜生徒アンケート＞ 部活動は楽しく充実しているか。						
	生徒の不安や悩みを迅速に把握し解消できるように相談体制や居場所を充実させ、困り感のある生徒には、合理的な配慮を工夫する。	生徒指導	＜満足度指標＞ 教育相談体制を充実させ、生徒の実態を把握し、問題の解消に努めている。	＜保護者アンケート＞ 学校は、不安を持っている生徒や困っている生徒の実態を把握し、問題の解消に努めているか。						
5	家庭・地域との連携 ネットのルールを徹底し、食育を充実させ、団らんの機会をふやすよう推進する	生徒指導	＜満足度指標＞ 家庭と学校の連携力が高まり、家庭のネットのルールが守られ、良い成果が出ている。	＜保護者アンケート＞ ネットトラブルやネット依存防止のために、家庭での話し合いやルール作りを行えたか。						
	積極的に有効な情報提供に努め、「開かれた学校」をめざして、地域や保護者の声を大切にしたい信頼される学校づくりを推進する。	教頭・教務	＜成果指標＞ 学校からの通信やホームページ、メール配信システムを適確に活用している。	＜保護者アンケート＞ 通信やホームページに目を通し、学校の情報を把握している。						